

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和5年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	秋川溪谷 瀬音の湯	指定管理者	新四季創造株式会社
指定期間	令和2年4月1日から 令和7年3月31日まで	担当課	観光まちづくり推進課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	334	170	50.9%	
	延べ利用者数 (人)	324,488	159,646	49.2%	
	事業開催 回数	必須事業 (回)	-	-	-%
		自主事業 (回)	-	-	-%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	-	-	
		利用料金収入(売上) (円)	279,532,372	139,277,964	
		自主事業収入 (円)	-	-	
		その他の収入 (円)	-	45,112	
	収入計 (円) …①		279,532,372	139,323,076	49.8%
	支出	人件費 (円)	115,664,364	59,573,563	51.5%
		維持管理経費 (円)	107,490,543	50,530,971	47.0%
		自主事業関係経費 (円)	-	-	-%
		その他の支出 (円)	55,000,456	23,076,819	42.0%
	支出計 (円) …②		278,155,363	133,181,353	47.9%
	収支 (①-②) (円) …③		1,377,009	6,141,723	446.0%
	諸経費 (本社運営費など) …④		-	-	-%
総収支 (③-④) (円)		1,377,009	6,141,723	446.0%	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 開館日数：170日 休館日：13日 利用者数：159,646人 (前年比：37,269人減) ※今年度からレストラン事業を業務委託としたが、その利用者数26,743人については、上記の利用者数に含めていない。</p>	<p>【事業の実施状況について】 新型コロナに関する規制が緩和されたことから、施設内でのイベント開催や外部イベントへ参加し、利用者の集客や施設の周知・宣伝に努めた。</p>	<p>【収支状況について】 (収入) 新型コロナに関する規制は緩和されたが、利用者数が減少した影響もあり、前年比84.2%の139,323千円となった。 (支出) 従業員のシフトや夜間警備・駐車場誘導業務委託の見直しなどによる経費削減を行い、前年比69.9%の133,181千円となった。</p>
---	--	---

所管課の評価 (指摘事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 毎週火曜日を休館日に設定したことで、休館日が11日増加し、利用者数が減少した。</p>	<p>【事業の実施状況について】 積極的に施設内でのイベント開催や外部イベントへ参加し、施設の集客や周知宣伝に努めた。 また、レストラン事業の見直しを行い、直営から業務委託とした。</p>	<p>【収支状況について】 上半期の総収支は、6,141千円の増益であるが、これはできる限り支出を抑えたことが要因であり、指定管理者の経営努力の結果として評価できる。</p>
--	---	---

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	60人 人員配置計画、実地、出勤簿	55人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	3回/年 研修マニュアル	実施回数1回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	50.0% 人員配置計画	49.12% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿、就業規則等	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）

上半期は、新型コロナの影響による臨時休館を行わないとともに、繁忙期である夏季期間には一部休館日を営業し、集客に努めた。また、業務改善として人件費の削減や外部への業務委託の見直しなどによる経費削減を行うとともに、後述の各事業における取組を行ったことで、上半期の総収支が6,141千円の増益となった。

今後も、イベントの積極的な開催や参加による周知活動を行い、集客に努めていく。

〈各事業における取組等〉

- ①温泉事業：新型コロナに関する規制が緩和され、利用者数もコロナ禍前へと回復しつつあるが、当初の見込みほどの回復には至っていない。営業後に、露天風呂にシートを被せ保温することで灯油代を削減するなどの経費削減に努めた。
- ②直売事業：商品の陳列方法の見直しや新規商品の開発などに取り組み、収支の増加に努めた。
- ③宿泊事業：5月からネット予約を推奨し、予約者に特典を付与することで、利用者へのサービス向上を図るとともに、人件費の削減に努めた。また、7月からコテージのリニューアル、利用料金の改定を行ったことで、利用者数、収入について当初の見込みより増加することができた。さらには、宿泊利用者に対して定期的にダイレクトメールを送ることでリピーターの獲得に努めた。
- ④委託事業：レストラン、カフェ、エステ、マッサージ機、自動販売機等の委託事業について、夏季期間は好調であった。

所管課による所見（指摘事項など）

新型コロナに関する規制が緩和され、臨時休館や時間短縮営業を行うことなく、施設の運営を行うことができた。

昨年度に引き続き、世界情勢の影響により物価が高騰している中ではあったが、総収支で6,141千円の増益を計上することができたのは、経費削減を始めとした指定管理者の経営努力の結果である。

また、各地でイベントが再開し始めている中で積極的に参加して周知PR活動を行い、集客に努めていることは評価できる。